



AXIS D1110 Video Decoder 4K HDMI™出力付き4Kビデオデコーダ

この4Kビデオデコーダを使用すると、ライブビデオをシーケンスビューで表示し、マルチビューで最大16つのビデオストリームを表示できます。これにより、コスト効率の高い映像監視ソリューションが実現し、PCを使用せずにライブビデオを表示することができます。HDMIがサポートされているモニターで使用でき、音声の有無に関わらず、広告や一般情報を表示することが可能です。さらに、PoE電源とDC電源の両方に対応し、迅速かつ容易に設置できます。

- > HDMI™出力付き4Kビデオ
- > PoEまたはDC駆動
- > 音声出力
- > シームレスなシーケンシングとマルチビュー
- > 直感的なAxisインターフェース



AXIS D1110 Video Decoder 4K

システムオンチップ (SoC)

モデル
i.MX8 QuadPlus

メモリー
RAM 2 GB、フラッシュ 1 GB

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264/AVC (MPEG-4 Part 10/AVCベースライン、メインおよびハイプロファイル (Bフレームおよびインターレースレンダリングはサポートされていません))
H.265/HEVCメインプロファイル

フレームレート
解像度に応じて最大60フレーム/秒

ビデオストリーミング
最大16のストリーム (8つはVPUを使用、8つはCPUを使用)

ビデオ出力
すべてのフォーマットで16:9:
UHD
3840x2160 @25/30フレーム/秒 (50/60 Hz)
FHD 1080p
1920x1080 @50/60フレーム/秒 (50/60 Hz)
1920x1080 @25/30フレーム/秒 (50/60 Hz)
HD 720p
1280x720 @50/60フレーム/秒 (50/60 Hz)
SD
720x576 @50フレーム/秒 (50 Hz)
720x480 @60フレーム/秒 (60 Hz)

音声

出力
ライン出力、HDMI™ (ステレオ)

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、
HTTPS¹、HTTP/2、TLS¹、CIFS/SMB、SMTP、mDNS
(Bonjour)、UPnP[®]、SNMP、v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/
DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、
RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、DHCPv4/
v6、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Syslog、リン
クローカルアドレス(設定不要)、IEEE 802.1X (EAP-
TLS)、IEEE 802.1AR

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインター
フェース
VAPIX®、AXIS Camera Application Platform (ACAP) な
ど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様につ
いてはaxis.com/developer-communityを参照)。
ワンクリックによるクラウド接続

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、お
よびaxis.com/vmsで入手可能なAxisパートナー製ビデ
オ管理ソフトウェアに対応。

イベント条件

IPアドレスの削除、ライブストリームアクティブ、
ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、システム
の準備完了
エッジストレージ：ストレージの中断、ストレージの
健全性に関する問題を検出
I/O: 手動トリガー、仮想入力
MQTT: ステートレス
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール

イベントアクション

MQTT: 公開
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
SNMPトラップ: 送信、ルールが有効な間に送信
ステータスLED: 点滅、ルールが有効な間は点滅

認証

製品のマーキング
UL/cUL、UKCA、CE、KC、VCCI、RCM

サプライチェーン
TAA準拠

EMC

CISPR 35、CISPR 32 Class A、EN 55035、
EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、
EN 61000-6-1、EN 61000-6-2

オーストラリア/ニュージーランド:

RCM AS/NZS CISPR 32 Class A

カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A)

日本: VCCI Class A

韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A

米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、
CAN/CSA C22.2 No. 62368-1 ed. 3

1. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するために OpenSSL Project ([openssl.org](https://www.openssl.org)) によって開発されたソフトウェアと Eric Young (ey@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP30

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS-140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-2レベル1)

ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティ

プラットフォーム

セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、Axis装置ID、セキュアキーストア、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)²、
IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、
HTTPS/HSTS²、TLS v1.2/v1.3²、Network Time Security
(NTS)、X.509証明書 PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

AXIS OSハードニングガイド

Axis脆弱性管理ポリシー

Axisセキュリティ開発モデル

ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。

Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP30規格準拠

アルミニウムケース

カラー：NCS S 9000-N

セキュリティスロット

取付

AXIS T91A03 DIN Rail Clip A、取り付けブラケット、
VESA取り付け穴パターンに対応

電源

Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
タイプ2 Class 4
10~28 V DC、最大17 W

コネクター

音声：3.5 mmライン出力、ステレオ
データ転送：USB Type A × 2個、対応USBクラス：
HID, Mass Storage
ネットワーク:RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
PoE
電源:DC入力ターミナルブロック
SDカードスロット (ハイスピード/UHS-1)
HDMIタイプA³、CEC対応

ストレージ

microSD/microSDHC/microSD UHS-1カードに対応

動作温度

0°C~40°C (32 ° F to 104 ° F)

湿度:10%~85% RH (結露不可)

保管条件

-20 ° C~65 ° C

湿度:5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量

500 g

パッケージ内容

ビデオデコーダ、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター

オプションアクセサリー

AXIS TU9001 Control Board、AXIS Strain Relief TD3901、AXIS T91A03 DIN Rail Clip A、AXIS T8415 Wireless Installation Tool、AXIS Surveillance Cards

その他のアクセサリーについては、axis.com/products/axis-d1110#accessoriesにアクセスしてください。

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリーセレクター
axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (ley@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
3. ATC認定

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

製品番号

axis.com/products/axis-d1110#part-numbersで入手可能

サステナビリティ

物質管理

RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠

REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み

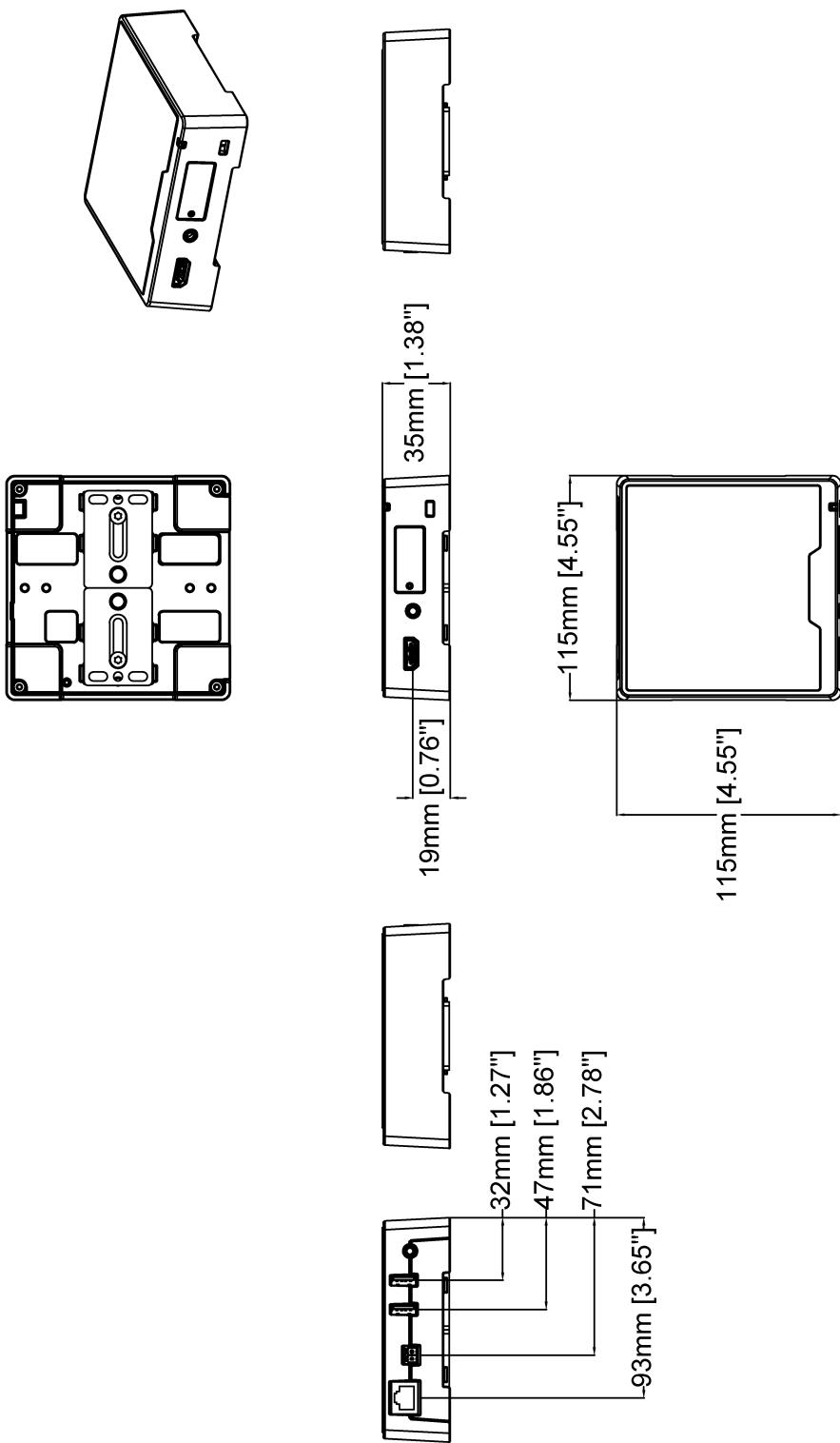
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility

Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です(詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

寸法図面



AXIS[®]
COMMUNICATIONS

www.axis.com

Revision	v.01	Revision date	2021-06-07
Paper size	A4	Release date	2021-06-07
Created by	JSK	Scale	1:3

© 2021 Axis Communications

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアポートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報(IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど)を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vaultにアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossaryを参照してください。